

周産期医療体制に係る課題整理と今後の施策案

平成28年度第1回宮城県周産期医療協議会資料1-2

第6次地域医療計画・第二期周産期医療体制整備計画
課題と施策（平成25～29年度）

周産期医療機能の集約化・重点強化

**周産期医療関係施設間の連携体制の強化
近隣県との広域連携体制の構築**

- 分娩取扱医療機関・産婦人科医の減少，地域偏在
- 広域連携

↓

- ◆ 県北地域における産科セミオープンシステムの活用と助産師外来の設置
- ◆ 県境を越えた協体制の構築

医師の確保と助産師の専門性の活用

医療従事者の確保

- 女性医師の割合増加によるマンパワー不足
- 産婦人科専攻医・分娩取扱医師の減少
- 過酷な勤務環境
- 医師の高齢化
- 地域偏在

↓

- ◆ 医師の確保や処遇改善のための環境整備

助産師外来設置推進

- 助産実践能力の維持向上
- 助産師外来の設置・推進

↓

- ◆ 助産師外来の設置等による助産師の専門性の活用

**新生児医療提供体制の充実
NICU 長期入院児支援コーディネーターの配置**

NICU 長期入院児の在宅移行円滑化に対する支援

- NICU 等長期入院児の状態に応じた望ましい療育・療育環境への円滑な移行

↓

- ◆ NICU 等長期入院児支援コーディネーター育成・配置

ICTによる周産期医療ネットワークシステムの構築と運営

ICTによる周産期医療ネットワークシステムの構築

- 継続的な医療機関，行政機関等との周産期医療体制の実現
- 災害緊急時等の備えが不十分

↓

- ◆ 周産期医療情報のデータベース化

これまでの取組み

周産期医療機能の集約化・重点強化

- ◆ 周産期医療協議会の開催
- ◆ 周産期母子医療センター運営への補助
- ◆ 県北地域3病院への助産師外来の設置・運営支援
- ◆ 県北地域の産科セミオープンシステムの定着支援
- ◆ 周産期救急搬送コーディネーターの配置
- ◆ 周産期医療情報システムの運営
- ◆ ドクターヘリの導入

医師の確保と助産師の専門性の活用

- ◆ 医師の育成
 - ・ NCPR、ALSO 等研修の実施
 - ・ 専門医の養成のための寄附講座の開設
- ◆ 医療従事者の確保
 - ・ ドクターバンク等による就労支援
 - ・ 医学生・看護学生修学資金等貸付
 - ・ 医師を志す高校生支援
 - ・ 特定診療科医師確保奨励金の交付
 - ・ 臨床研修医合同研修会
- ◆ 女性医師就労支援
 - ・ 院内保育所整備・運営費補助
 - ・ 女性医師支援センターの設置・運営
- ◆ 勤務環境・待遇の改善
 - ・ 周産期母子医療センター運営事業補助
 - ・ 分娩手当，研修医手当の補助
- ◆ 助産師外来の設置
- ◆ 他職種とのワークシェア
 - ・ 総合周産期母子医療センターへの心理士配置支援
 - ・ 周産期医療データ収集職員配置支援
 - ・ 助産師関係研修の実施
- ◆ 助産師出向制度
 - ・ 出向者に不利益とならないよう手当等を補助

**新生児医療提供体制の充実
NICU 長期入院児支援コーディネーターの配置**

- ◆ 拓桃医療療育センターの整備
- ◆ 極小低体重児支援センターの運営
- ◆ ショートステイ受入機関の運営支援
- ◆ 地域療育支援施設運営事業補助

ICTによる周産期医療ネットワークシステムの構築と運営

- ◆ 新周産期医療情報ネットワークシステムの構築・運営支援

周産期医療WGで議論

ワーキング意見

1 女性就労支援

- 保育関係
 - ・ 柔軟な保育所運営
 - ・ 保育人材の確保
 - ・ 保育費用に対する補助
 - ・ 勤務場所に24時間体制で保育士を配置
- 勤務形態
 - ・ 育児・介護等の様々な状況・立場を考慮した勤務体制
 - ・ キャリア育成を踏まえた業務・勤務体制

2 医療従事者の確保

- 医師育成・確保
 - ・ ロールモデルによる高校生・医学生への周産期医療のPR
 - ・ 修学資金に周産期医療の特色を出す
 - ・ 大学との連携による効果的・効率的な医師確保への取組み
- 医師派遣体制の維持・強化
 - ・ 大学で人材を育成・確保し，地域周産期医療センターに配置
 - ・ 地域周産期母子医療センター配置医師の学会等への参加機会の確保
- 助産師の確保
 - ・ 潜在助産師の掘り起こしと再就職支援
 - ・ 中堅～若手助産師の育成・離職防止
 - ・ 助産師バンクの設立や出向等による地域偏在の解消

3 勤務環境の改善による離職防止

- 給与関係
 - ・ 当直や日直，オンコール等の勤務実態に応じた手当の支給
 - ・ 給料の増額
- 勤務体制
 - ・ 当直明け勤務の緩和，フレックス制の導入
 - ・ ワーク・ライフ・バランスに配慮した勤務体制
 - ・ 担当医制からチーム制への移行
- ワークシェア
 - ・ ハイリスク妊産褥婦への他職種での対応
 - ・ 医師事務作業補助者，心理士の確保と周産期母子医療センターへの配置

4 助産師の専門性の活用

- 助産実践能力の維持向上
 - ・ 人材交流・出向等による助産実践能力の維持向上
 - ・ CLoMip に合わせた恒常的・計画的な研修の実施
- 産褥ケア
 - ・ 助産師メインの産褥ケア

5 普及・啓発

- 結婚・出産・育児を踏まえた健康（性）教育
- 適切な健診受診の啓発による飛込み未受診妊婦の予防
- ハイリスク妊娠への医療機関と行政の連携した対応
- 公費負担による産褥健診の導入

結果から考えられる方策

今後の施策案

平成28年度 新規事業

医療従事者の確保

○周産期医療医師確保・配置支援事業

医師育成場所である東北大学病院の周産期母子医療センターの運営を支援し，医師育成等の機能強化を進め，気仙沼市立病院等への医師配置を維持継続する。

○助産師資質向上事業

助産師の助産実践能力維持強化を図るため，有識者会議を開催し，研修制度及び人材交流・出向制度を検討する。

平成28年度 既存事業の改善策の検討

女性就労支援

○院内保育所運営事業

- ・ 夜間・病児保育に対する補助強化
- ・ 保育費用減額のための補助割合の増加

勤務環境の改善による離職防止

○新人助産師他施設合同研修事業

○助産師人材育成・再教育研修事業

- ・ CLoMip に適した恒常・的計画的な研修制度への移行

○特定診療科医師確保推進事業

- ・ 医局と連携した効果的・効率的な広報

平成29年度 新規事業

勤務環境の改善による離職防止

○医療勤務環境改善事業

- ・ 医師事務作業補助者の補助対象施設に分娩取扱医療機関を含める。

助産師の専門性の活用

○助産師出向助成事業

- ・ 出向により生じる給与等の差額の補填。

検討の継続

医療従事者の確保

- ・ 分娩手当に類似した手当を支給する医療機関に対する補助制度（例）オンコール，当直，日直等に対する手当
- ・ 医育機関（東北大学）と連携した学生向けPRの強化

医療機関（雇用主）への要望

周産期医療従事者の待遇の改善

- ・ 給与のベースアップや手当の増額，創設
- ・ 勤務時間・勤務体制の改善，学会等への参加機会の確保
- ・ 院内保育所の柔軟な運営 など
- ・ 医師事務作業補助者の配置

助産師の専門性の活用

- ・ 人材交流・出向制度への参加による，助産師の助産実践能力の維持向上

市町村への要望

住民への意識啓発

- ・ 学校等における教育機会の提供
- ・ 適切な健診受診への啓発
- ・ 医療機関と連携したハイリスク妊産褥婦への対応
- ・ 産褥健診の公費負担